

パケット送受信ツールのフレームワーク化 (ツールの雛型作成)

大井電気株式会社 阿部匡弘

開発における問題点

- 通信機器の開発時、動作テストのため、擬似対向用のパケット送受信ツールが必要となる。
- このツールは、通信機器のパケットフォーマット、暗号化方式、シーケンスなどに合わせて**短期間**で用意する必要がある。
- フリーツールなどを、そのまま使用できない。

手法・ツールの提案による解決

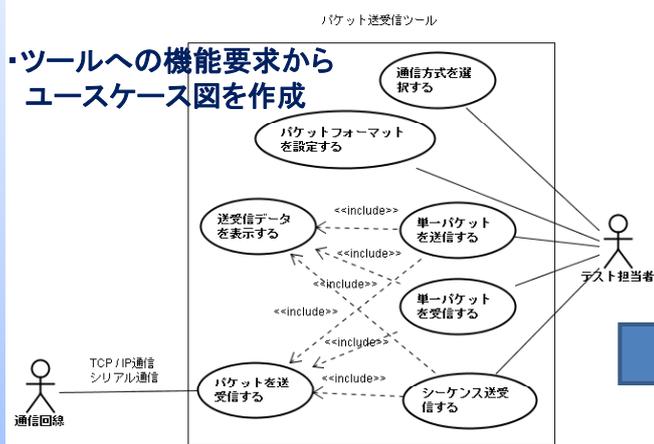
- ユースケース中心に実装まで行う軽量なオブジェクト指向開発プロセスである**ICONIX**を用いてツールをフレームワーク化
- **ICONIXの特徴**
 - ・ 分かりやすい
 - ・ 属人性が低い(と考えられる)
 - ・ 小規模開発に適する

通信機器の例
セキュリティ関連機器



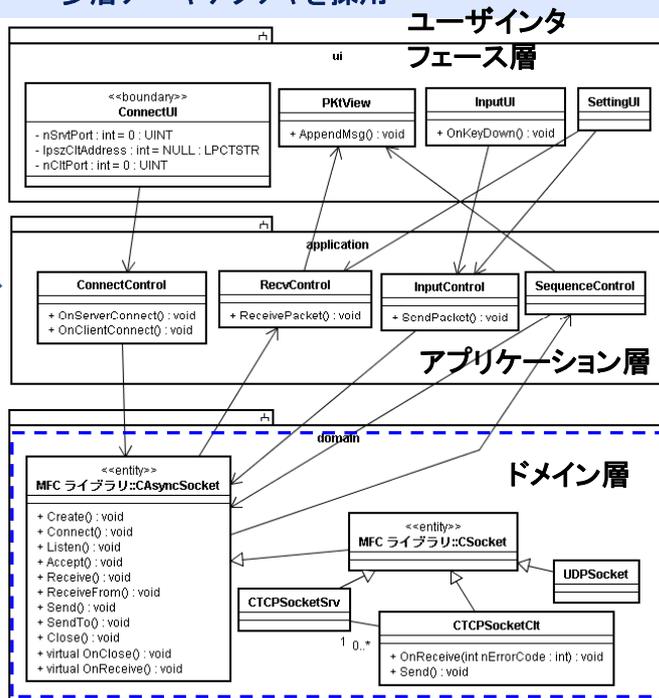
パケット送受信ツール
(試験用のツール)

② 要求モデル

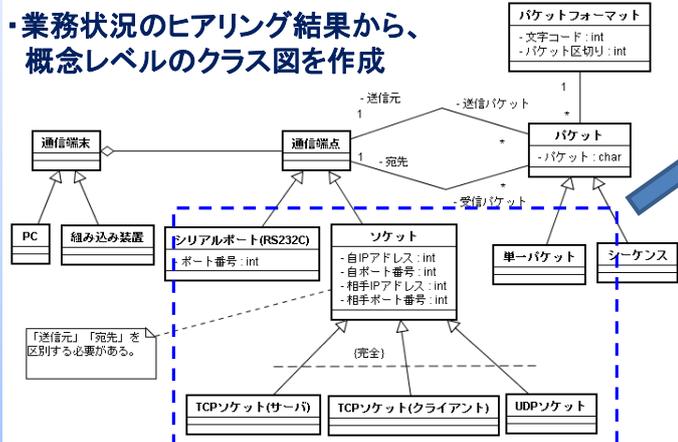


③ 設計モデル

- システム分析(ロバストネス分析)を実施後、多層アーキテクチャを採用



① 分析モデル



まとめと課題

- ICONIX開発プロセスを通信ソフトウェアへ適用した。
- 今後、機能拡張と品質・信頼性向上を図る。